

平成29年度 中学部前期実習

6月7日(水)から6月13日(火)までの5日間、校内で実習を行いました。木工班、農作業班、手作り班、陶芸班に分かれて、「働く」ということを意識しながら作業学習に取り組みました。

～結団式～

6月6日(火)に結団式を行いました。教頭先生や、校内の先生方が参観される中、作業面・態度面などの目標や、実習で守る3つのきまりについての確認をしました。緊張感のある中で、実習への気持ちを高めました。



木工班

木工班では、新製品のダストボックス作りに取り組みました。木材の切り出しや、面取り、やすり、穴開け、塗装などの工程を分担しながら行いました。外部講師の長田さんの御指導を受け、安全面に気を付けながら機械を使い作業することができました。



農作業班

花壇の整備や畑で野菜の苗植えや種まきをしました。みんなで相談をして作業を進め、力を合わせて取り組んだ校内実習です。



陶芸班

陶芸班では、粘土を練る人、たたら（平な粘土の板）を作る人、丸形に切り抜く人、土締めをする人、石膏型を使って成形をする人、というように、流れ（分担）作業で丸皿づくりをしました。一日平均、約50枚の皿を作りました。



手作り班

手作り班では、達子森の夏祭りに向けて紙すきうちわを製作しました。牛乳パックのラミネートはがし、紙すきなどの工程を分担して行いました。紙すきをはじめて行う生徒もいましたが、やり方を覚えて、自分の役割をしっかりと果たしました。



～結団式～

実習の振り返りでは実習日誌を見ながら、「良かったところ」や「もっと頑張らなければいけないこと」を分析し、チェック用紙に記入しました。解団式では、振り返りでまとめた成果と課題を一人一人が大きな声で発表しました。達成感に満ちあふれた表情で参加することができました。

